

【介護サービス事業所実態調査】(案)

資料 3-2

令和4年(2022年)5月24日(火)
第4回川越市介護保険事業計画等審議会

質問項目		選択肢																																																																																																												
問1	貴事業所の全従業員は何人ですか。また、そのうち介護保険の指定介護サービス事業に従事する者は何人ですか。それぞれ人数を記入してください。(令和4年5月31日現在)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>正規職員</th> <th>非正規職員</th> <th>派遣労働者</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A.貴事業所の全従業員</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>B.うち介護保険の指定介護サービス事業に従事する従業員</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>											正規職員	非正規職員	派遣労働者	合計	A.貴事業所の全従業員					B.うち介護保険の指定介護サービス事業に従事する従業員																																																																																								
	正規職員	非正規職員	派遣労働者	合計																																																																																																										
A.貴事業所の全従業員																																																																																																														
B.うち介護保険の指定介護サービス事業に従事する従業員																																																																																																														
問2	上記Bの従業員のうち、正規職員及び非正規職員の現在の各年齢ごとの人数をそれぞれ記入してください。(令和4年5月31日現在)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>正規職員</th> <th>非正規職員</th> <th>全職員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>65才以上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>60～64才</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>50～59才</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>40～49才</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>30～39才</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>20～29才</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>19才以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>											正規職員	非正規職員	全職員	65才以上				60～64才				50～59才				40～49才				30～39才				20～29才				19才以下				合計																																																																		
	正規職員	非正規職員	全職員																																																																																																											
65才以上																																																																																																														
60～64才																																																																																																														
50～59才																																																																																																														
40～49才																																																																																																														
30～39才																																																																																																														
20～29才																																																																																																														
19才以下																																																																																																														
合計																																																																																																														
問3	上記Bの従事者のうち、下記の「職種別従業員数」について、令和4年5月31日現在の該当する職種の人数をそれぞれ記入してください。また、非正規職員については、勤務形態別の内数も記入してください。	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">正規職員</th> <th colspan="2">非正規職員</th> <th colspan="3">勤務形態</th> <th colspan="2">派遣労働者</th> </tr> <tr> <th>男</th> <th>女</th> <th>男</th> <th>女</th> <th>常勤労働者</th> <th>短時間労働者</th> <th>その他</th> <th>男</th> <th>女</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①訪問介護員</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>②サービス提供管理者</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③介護職員</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>④看護職員</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤生活相談員</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑥PT,OT,ST等</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑦介護支援専門員</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計①～⑦</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>											正規職員		非正規職員		勤務形態			派遣労働者		男	女	男	女	常勤労働者	短時間労働者	その他	男	女	①訪問介護員										②サービス提供管理者										③介護職員										④看護職員										⑤生活相談員										⑥PT,OT,ST等										⑦介護支援専門員										合計①～⑦									
	正規職員		非正規職員		勤務形態			派遣労働者																																																																																																						
	男	女	男	女	常勤労働者	短時間労働者	その他	男	女																																																																																																					
①訪問介護員																																																																																																														
②サービス提供管理者																																																																																																														
③介護職員																																																																																																														
④看護職員																																																																																																														
⑤生活相談員																																																																																																														
⑥PT,OT,ST等																																																																																																														
⑦介護支援専門員																																																																																																														
合計①～⑦																																																																																																														
問4	貴事業所には、介護の仕事をしている外国人労働者がいますか。(○は1つ)	1. いる 2. いない → 問6へ																																																																																																												
問5	外国人労働者の受け入れ状況について、お答えください。(あてはまるものすべてに○)	1. EPA(経済連携協定)による受け入れ 2. 在留資格「介護」による受け入れ 3. 技能実習による受け入れ 4. 在留資格「特定技能1号」による受け入れ 5. その他																																																																																																												
問6	貴事業所では今後、外国人労働者を活用する予定はありますか。(○は1つ)	1. 活用する予定はある 2. 活用する予定はない → 問8へ																																																																																																												
問7	外国人労働者を活用する予定がある場合、どの状況で受け入れを考えていますか。(あてはまるもの全てに○)	1. EPA(経済連携協定)による受け入れ 2. 在留資格「介護」による受け入れ 3. 技能実習による受け入れ 4. 在留資格「特定技能1号」による受け入れ 5. その他																																																																																																												
問8	外国人労働者の今後の活用について、何か課題はありますか。(あてはまるもの全てに○)	1. 日本人職員との会話等における意思疎通に支障がある 2. 利用者等との会話等における意思疎通に支障がある 3. 日本語文章力・読解力の不足等により、介護記録の作成に支障がある 4. 生活、習慣等の違いにより、日常業務に支障がある 5. 人件費以外にさまざまなコストがかかる 6. 受け入れ方法や活用方法がわからない 7. わからない 8. 課題はない 9. その他																																																																																																												

質問項目		選択肢																		
問9	<p>高校新卒正規職員の賃金(月額)について、基本給・定額的に支払われる手当・固定残業代・その他の手当等を記入してください。</p> <p>また、年間の賞与金額(前年度実績)について記入してください。</p> <p>※基本給や手当等の分け方は、ハローワークの求人票の分け方に準じてください。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>賃金の内訳</th> <th>金額</th> <th>手当の名称等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基本給</td> <td>円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>定額的に支払われる手当</td> <td>円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>固定残業代</td> <td>円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他の手当等</td> <td>円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>賞与金額</td> <td>ヶ月分</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	賃金の内訳	金額	手当の名称等	基本給	円		定額的に支払われる手当	円		固定残業代	円		その他の手当等	円		賞与金額	ヶ月分	
賃金の内訳	金額	手当の名称等																		
基本給	円																			
定額的に支払われる手当	円																			
固定残業代	円																			
その他の手当等	円																			
賞与金額	ヶ月分																			
問10	<p>事業所管理者(施設長)の、令和3年中の給与所得(年収)と令和4年5月31日現在の年齢を記入してください。(源泉徴収票の支払金額)</p> <p>※各事業所(施設)集計後の平均金額を公開します。個々の金額を公開することはありません。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>給与所得(年収)</th> <th>年齢</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業所管理者(施設長)</td> <td>万円</td> <td>歳</td> </tr> </tbody> </table>	職種	給与所得(年収)	年齢	事業所管理者(施設長)	万円	歳												
職種	給与所得(年収)	年齢																		
事業所管理者(施設長)	万円	歳																		
問11	<p>貴事業所では、研修の受講やキャリア段位制度と人事考課が連動する仕組みを取り入れていますか。(○は1つ)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 取り入れている 取り入っていない 																		
問12	<p>貴事業所では、職員の早期離職防止や定着促進を図るために、労働環境に関して、どのような方策をとっていますか。(あてはまる番号全てに○)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 残業を少なくする、有給休暇を取りやすくする等の労働条件の改善に取り組んでいる 本人の希望に応じた勤務体制にする等の労働条件の改善に取り組んでいる 賃金水準を向上させている 能力や仕事ぶりを評価し、賃金などの処遇に反映している キャリアに応じた給与体系を整備している 非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている 仕事内容の希望を聞いて配置している 子育て支援を行っている (子ども預かり所を設ける、保育費要支援等) 介護休業や介護休暇を就業規則に定めている その他 																		
問13	<p>貴事業所では、職員の早期離職防止や定着促進を図るために、職場のコミュニケーションに関してどのような方策をとっていますか。(あてはまる番号全てに○)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 悩み、不満、不安などの総合相談を設けている (メンタルヘルス対策を含む) 職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている (定期的なミーティング、意見交換会、チームケア等) 福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めている (カラオケ、ボーリングなどの同好会、親睦会等の実施を含む) 経営者・管理者と従業員が経営方針、ケア方針を共有する機会を設けている 職員の仕事内容と必要な能力等を明示している 新人の指導担当・アドバイザーを置いている 管理者・リーダー層の部下育成や動機付け能力向上に向けた教育研修に力を入れている その他 																		
問14	<p>貴事業所では、職員の早期離職防止や定着促進を図るために、業務効率化と生産性向上に関して、どのような方策をとっていますか。(あてはまる番号全てに○)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 整理整頓当5Sの視点で安全な介護環境と働きやすい職場を整備している 業務の明確化と役割分担の見直しにより、ムリ・ムダ・ムラを削減している 手順書を作成し、職員の経験値、知識を可視化・標準化することで、職員全体の熟練度を養成している。 記録・報告様式の項目の見直しやレイアウトの工夫等により、情報を読み解きやすくしている ICT等を用いて転記作業の削減、一斉同時配信による報告・申し送りの効率化、情報共有のタイムラグ解消等を行っている 職員の専門性を高め、リーダーを育成するため、OJT内容の統一と指導方法の標準化を図っている 組織の理念・行動指針を徹底し、それらにもとづいて自律的な行動がとれる職員を育成している その他 																		

質問項目		選択肢																																																
問15	貴事業所で、職員の早期離職防止や定着促進に特に効果があった方策はありましたか。 あった場合は、上記方策(問12～問14)で○をつけた中からそれぞれ最大2つまで選んでその番号を記入してください。	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">特に効果があった方策</td> <td>問12</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>問13</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>問14</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				特に効果があった方策	問12			問13			問14																																					
特に効果があった方策	問12																																																	
	問13																																																	
	問14																																																	
問16	職員の採用にあたり、次の施策のうち活用してみようと思うものはどれですか。(あてはまるものすべてに○)	1.介護職員初任者研修の修了者に対する職場体験やインターンシップを通じたマッチング 2.介護職員初任者研修の修了者とオンライン面接を通じたマッチング 3.入門的研修の修了者に対する職場体験やインターンシップを通じたマッチング 4.入門的研修の修了者とオンライン面接を通じたマッチング 5.採用活動に資するセミナーや研修機会(オンライン受講可)の提供 6.いずれも活用してみようと思わない																																																
問17	(問16で「6.いずれも活用してみようと思わない」と答えた事業所の方) その主な理由をお答えください。																																																	
問18	貴事業所で、介護人材を確保するために、効果的だと思われる施策はどれですか。(あてはまるものすべてに○)	1.介護助手の導入支援 2.介護未経験者に対する入門的研修の実施とマッチング支援 3.離職した介護職員の届け出システムによる復職支援 4.外国人介護人材の受入れに係る経費の一部補助 5.人材育成等について優れた取組を行っている介護事業所の認証 6.いずれも効果的ではない 7.その他()																																																
問19	介護人材確保について、市役所に期待する施策があれば記入してください。 ※介護報酬の改正は国の事務ですので、除いてください。																																																	
問20	新型コロナウイルス感染拡大の影響についてお伺いします。 令和元年度と比較して、令和2年度～3年度に新型コロナウイルス感染拡大による悪影響はありましたか？(複数回答可)	1.契約者(利用者、入居者等)が減少した 2.収入が減少した 3.職員が退職した 4.消毒等の業務量が増加し、人手が不足した 5.その他																																																
問21	訪問介護員・介護職員・看護職員(派遣労働者を除く)について、1年間(令和3年6月1日から令和4年5月31日まで)の実募集人数及び採用人数を記入してください。 ※実募集人数・・・例えば求人広告等で1名募集をしたものの、広告期間中に応募が無く、再度1名の求人広告を出した場合は、実募集人数1人と数えてください。	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="3">実募集人数</th> <th colspan="3">採用人数</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">正規職員</th> <th colspan="2">非正規職員</th> <th rowspan="2">正規職員</th> <th colspan="2">非正規職員</th> </tr> <tr> <th>常勤労働者</th> <th>短時間労働者</th> <th>常勤労働者</th> <th>短時間労働者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪問介護員</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>介護職員</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>看護職員</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					実募集人数			採用人数			正規職員	非正規職員		正規職員	非正規職員		常勤労働者	短時間労働者	常勤労働者	短時間労働者	訪問介護員							介護職員							看護職員							合計						
	実募集人数			採用人数																																														
	正規職員	非正規職員		正規職員	非正規職員																																													
		常勤労働者	短時間労働者		常勤労働者	短時間労働者																																												
訪問介護員																																																		
介護職員																																																		
看護職員																																																		
合計																																																		
問22	訪問介護員・介護職員・看護職員(派遣労働者を除く)について、1年間(令和3年6月1日から令和4年5月31日まで)の離職者の人数を記入してください。	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="3">離職者の人数</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">正規職員</th> <th colspan="2">非正規職員</th> </tr> <tr> <th>常勤労働者</th> <th>短時間労働者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪問介護員</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>介護職員</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>看護職員</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					離職者の人数			正規職員	非正規職員		常勤労働者	短時間労働者	訪問介護員				介護職員				看護職員				合計																							
	離職者の人数																																																	
	正規職員	非正規職員																																																
		常勤労働者	短時間労働者																																															
訪問介護員																																																		
介護職員																																																		
看護職員																																																		
合計																																																		
問23	介護予防・日常生活支援総合事業の多様なサービスに位置付けられる、訪問型サービスAについて、貴事業所が参入を検討するために緩和の必要な基準をお答えください。(最大3つまで○)	【訪問型サービスA】 1.管理者の配置要件 2.訪問介護員等の員数 3.訪問介護員等の資格要件 4.サービス提供責任者の配置要件 5.サービス提供責任者の資格要件 6.その他設備基準、運営基準等 7.基準が緩和されても参入は検討しない 8.全く未定 9.わからない																																																

質問項目		選択肢						
問24	【問23で「7基準が緩和されても参入は検討しない」と答えた事業所の方】 その主な理由をお答えください。							
問25	同様に、通所型サービスAについて、貴事業所が参入を検討するために緩和の必要な基準はどれですか。(最大3つまで○)	【通所型サービスA】 1. 管理者の配置要件 2. 生活相談員の資格要件・配置義務・員数 3. 看護職員の資格要件・配置義務・員数 4. 介護職員の員数 5. 機能訓練指導員の資格要件・配置義務・員数 6. 食堂・機能訓練室の最低面積 7. 相談室・静養室・事務室の配置義務 8. その他運営基準等 9. 基準が緩和されても参入は検討しない 10. 全く未定 11. わからない						
問26	【問25で「9. 基準が緩和されても参入は検討しない」と答えた事業所の方】 その主な理由をお答えください							
問27	(回答する事業所の事業所種別)は、現在川越市内の利用者に対して、事業所数(施設数)が不足していると感じますか。	1. 非常に不足していると感じる 2. やや不足していると感じる 3. 丁度良いと感じる 4. やや余っていると感じる 5. 非常に余っていると感じる						
問28	介護職員・訪問介護員(フルタイムの正規職員)の月平均労働日数・月平均時間外労働時間・年間休日数を記入してください。 ※ハローワークに求人を出している場合は、数字の整合性を意識してください。	<table border="1"> <tr> <td>月平均労働日数</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>月平均時間外労働時間</td> <td>時間</td> </tr> <tr> <td>年間休日数</td> <td>日</td> </tr> </table>	月平均労働日数	日	月平均時間外労働時間	時間	年間休日数	日
月平均労働日数	日							
月平均時間外労働時間	時間							
年間休日数	日							
問29	職員を募集する場合、最も効果ある方法を1つ選んで番号を記入してください。	1. ハローワークに求人を出す 2. 民間の求人広告に募集を出す 3. ハローワーク主催の集団面談でブースを出す 4. 知人・関係各所に紹介を依頼する 5. その他						
問30	過去、新型コロナウイルスの陽性者が発生した施設・事業所へお伺いします。 新型コロナウイルスの陽性者が発生した際、どのような課題がありましたか？							
問31	災害対策についてお伺いします。 台風や地震、或いは感染症の蔓延等に対する備えとして、どのような物資を備蓄していますか？ (複数回答可)	1. 食料品(3日分以上) 2. 衛生用品(1週間分以上) 3. 備蓄していない 4. その他						
問32	貴事業所は、地域の中で次のような取組を行っていますか。この1年間で取り組んだことすべてに○をしてください。また、その中で積極的に取り組んだ取組について最大3つまで○をしてください。	1. 介護保険外の生活支援サービスの提供 2. 事業所の設備や建物等を地域に開放 3. 祭りなど地域行事に事業所として参加 4. 町内会・自治会等にメンバーとして参加・日常的な関係づくり 5. 民生委員、関係機関等とともに地域の見守りのネットワークに参加 6. 介護や健康づくり等に関するセミナーを開催・支援、職員派遣 7. 地域の介護者の集いを開催・支援 8. 職場見学・職場体験や実習の受け入れ、教育機関への出張講義・出張相談等 9. ボランティアの受け入れ 10. 生活・介護支援や見守りのためのボランティアの育成・組織化 11. いずれも行っていない						

	質問項目	選択肢
問33	<p>川越市において、「住み慣れた地域での在宅生活の継続」の実現を目的として「地域包括ケアシステム」の推進のために、必要だと思われるインフォーマルサービス(※)はどれがあるとお考えですか。(あてはまるもの全てに○)</p> <p>※インフォーマルサービスとは、公的機関や専門職による制度に基づくサービスや支援(フォーマルサービス)以外の支援のことです。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ひとり暮らし高齢者などに対する見守り支援 2. 配食サービス(合わせて安否確認も) 3. 外出時の移動支援 4. 高齢者が交流するための場(サロン等)の充実 5. 話し相手 6. ゴミ出し支援 7. 生活援助(訪問介護の生活援助に準ずるサービス) 8. 生活援助(訪問介護の生活援助の範囲を超えるサービス) 9. 生きがい活動支援 10. その他
問34	本市の在宅医療・介護事業者検索システムを知っていますか。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 知っている 2. 知らない
問35	在宅医療・介護事業者検索システムの、医療・福祉事業者関係者専用サイト「ケア倶楽部」へアクセスするための登録はお済みですか。(1つに○を選択)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 登録済み 2. 登録していない
問36	「川越市在宅医療・介護事業者検索システム」、「ケア倶楽部」を業務に活用していますか。	<p>《在宅医療・介護事業者検索システム》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 活用している 2. 活用していない <p>《ケア倶楽部》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 活用している 2. 活用していない
問37	「川越市在宅医療・介護事業者検索システム」、「ケア倶楽部」について、ご意見ご要望がありましたらご記入ください。	